

○石羽根越冬牧場

10月末、馬たちは山の荒川高原牧場から里に近い石羽根越冬牧場に移動します。石羽根は荒川より気温が高く、馬たちは夏の間採草地として利用されている牧区で雪が降るまでのひと月間、この放牧地で過ごします。



なだらかな丘に広がる放牧地（採草地）を駆ける馬たち

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.73

2022年12月1日

○晩秋の穏やかな時間



晩秋の光に包まれた放牧地

「夏山冬里」という方法で育てられる遠野の馬たち。10月の終わり、夏の間過ごした荒川牧場から直接生産者の家に戻る馬もいますが、毎年30頭ほどの馬が石羽根越冬牧場で仲間と共に過ごします。この時期の石羽根はまだ積雪がなく、紅葉した木々に囲まれた放牧地には青草も残っているの、とても穏やかです。本格的な雪の季節がやってくると、馬たちは同じ石羽根牧場内の屋根付き餌場がある牧区に移動して冬を乗り切ります。



紅葉の山の麓で



薬師岳、早池峰山を望む放牧地



元気いっぱい1歳馬たち



すすきと青草の放牧地



皆、馬仲間



雪が降るまで石羽根で過ごす当歳馬もいる